

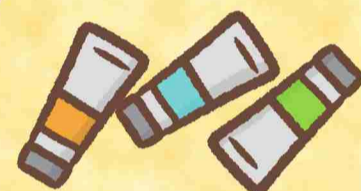
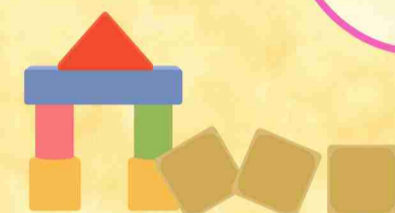
小学校以降の生活や学習の基盤を育成 ～子供の発達や学びをつなぐ～

遊びは幼児期にふさわしい学び

幼児期は、知識を教えられて身に付けていく時期ではありません。遊びを中心として、頭も心も体も動かして、主体的に、様々な対象と直接かかわりながら、総合的に学んでいきます。

遊びを通して思考を巡らし、想像力を発揮し、自分の体を使って、また、友達と共有したり、協力したりして、様々なことを学んでいきます。幼稚園での遊びを通して豊かな心と体を育み、学ぶ楽しさを知ります。

どんな学びがあるのかな？



例

- 道具の使い方をしる
- 素材のよさを生かしてつくる
- 友達と思いついたことをだしあう
- やりとげたことをよろこぶ

例

- 思い浮かべた色をつくる
- 色の変化を楽しむ
- 色の違いに気付く
- 友達と一緒に感じあう

小学校でのスタートカリキュラム

幼児期の遊びを通じた学びが、各教科等の学習につながるよう、生活科を中心とした「スタートカリキュラム」を充実しています。入学当初は、幼児期の生活に近い活動と児童期の学び方を織り交ぜていきます。そうして、子供はより自覚的な学びへと向かっていきます。つまり、学ぶことの意識があり、集中する時間とそうでない時間の区別がつき、自分の課題の解決に、計画的に学んでいくようになります。

●スタートカリキュラムの活動例

リズムで楽しく遊ぼう



「あひるのあくびはあ・い・う・え・お」
音読にも動きを付けて、体全体で伸び伸び表現します。

アサガオを育てよう



友達とかわかることで、気づきが生まれます。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を幼稚園と小学校で共有